

調 査 の 概 要

- 1 この調査は昭和 32 年から住民基本台帳法(昭和 32 年から昭和 42 年までは住民登録法)、住民基本台帳等人口調査要綱及び同要領に基づき、区市町村長から毎年1月1日現在で報告を受け集計しているものである。
- 2 調査内容は、住民基本台帳に記載されている都内の世帯数及び男女数を、区市町村別に町丁(字)別及び年齢別に集計したものである。
- 3 住民基本台帳法の適用が除外されているもの(日本の国籍を有しない者及び戸籍法の適用を受けない者)は、調査の対象としていない。
- 4 町丁(字)制を施行していない地域等については、通常用いている区画(自治会、町会名称等)によることとしたが、利島村、神津島村、御蔵島村及び青ヶ島村については、村を 1 つの区画とした。

利 用 上 の 注 意

- 1 統計表及び図表の数値は、特にことわり書きのない限り、各年 1 月 1 日現在の数値を示す。
- 2 統計表において「 - 」印は皆無又は該当数字のないことを、「 」印は減を、「0.00」は表章単位未満を示す。
- 3 統計表において構成比を示す数値は、四捨五入してあるため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。
- 4 参考表において市部、町村部の区域は現在の区域に組み替えて表章している。
- 5 町丁名の掲載順は区市町村からの報告に基づいている。

この報告書についての照会は

総務局統計部人口統計課人口動態統計係

電話 03-5321-1111(代)

内線 25-511・512

03-5388-2531 (ダイヤルイン)

結果の概要

1 1月1日現在人口

平成 18 年 1 月 1 日現在における東京都の住民基本台帳による人口総数は 12,247,024 人で、前年に比べ 85,995 人(0.71%)の増加となり、過去最大となった。

調査開始(昭和 32 年)以来の推移をみると、昭和 62 年までおおむね増加傾向にあったが、翌年以降減少を続けた。しかし、平成 9 年に増加に転じ、その後、平成 18 年まで 10 年連続の増加となり、過去最大となった。

人口総数を男女別にみると、男性 6,087,228 人、女性 6,159,796 人となり、前年に比べ男性は 40,055 人(0.66%)、女性は 45,940 人(0.75%)増加した。性比(女性 100 人に対する男性の数)は 98.8 で、前年に比べ 0.1 ポイントの低下となり、平成 8 年から引き続き 100 を下回り、男性が女性より少なく、一貫して性比は低下している。

地域別にみると、区部は 8,247,810 人で、前年に比べ 63,903 人(0.78%)増加し、10 年連続の増加となった。市部は 3,910,232 人で、23,071 人(0.59%)増加し、調査開始以来、増加を続けている。一方、町村部は 88,982 人で 979 人(1.09%)の減少となった。

(表 1、表 2、図 1、統計表第 1 表、参考表第 3 表)

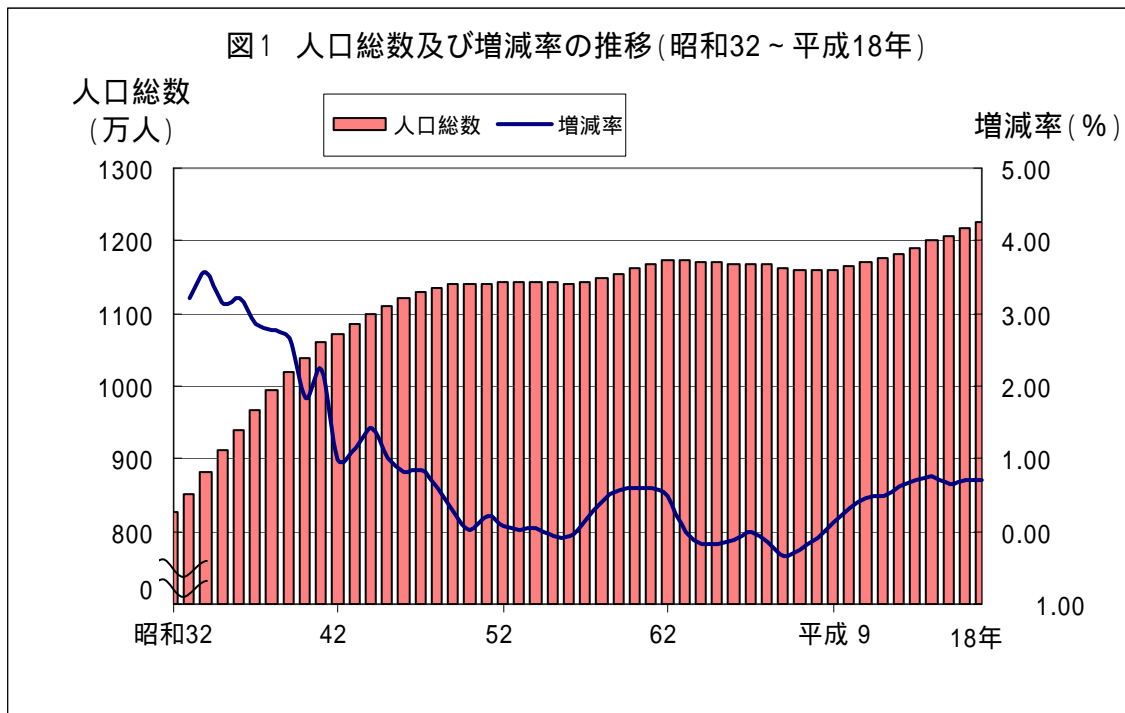


表1 人口総数及び男女別人口の推移(平成8～18年) 各年1月1日現在 (単位 人、%)

年次	総数			男			女			性比
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	
平成8	11 587 726	10 908	0.09	5 791 829	11 486	0.20	5 795 897	578	0.01	99.9
9	11 602 642	14 916	0.13	5 793 911	2 082	0.04	5 808 731	12 834	0.22	99.7
10	11 641 308	38 666	0.33	5 808 485	14 574	0.25	5 832 823	24 092	0.41	99.6
11	11 694 934	53 626	0.46	5 832 504	24 019	0.41	5 862 430	29 607	0.51	99.5
12	11 750 351	55 417	0.47	5 857 130	24 626	0.42	5 893,221	30 791	0.53	99.4
13	11 823 029	72 678	0.62	5 892 229	35 099	0.60	5 930 800	37 579	0.64	99.3
14	11 907 350	84 321	0.71	5 932 231	40 002	0.68	5 975 119	44 319	0.75	99.3
15	11 996 211	88 861	0.75	5 973 910	41 679	0.70	6 022 301	47 182	0.79	99.2
16	12 074 598	78 387	0.65	6 008 358	34 448	0.58	6 066 240	43 939	0.73	99.0
17	12 161 029	86 431	0.72	6 047 173	38 815	0.65	6 113 856	47 616	0.78	98.9
18年	12 247 024	85 995	0.71	6 087 228	40 055	0.66	6 159 796	45 940	0.75	98.8

(注1) 増減数(人) = 当該年の人口総数 - 前年の人口総数
(注2) 増減率(%) = (当該年の人口総数 - 前年の人口総数) ÷ 前年の人口総数 × 100

表2 地域別人口の推移(平成8～18年) 各年1月1日現在 (単位 人、%)

年次	区部			市部			町村部		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成8	7 846 487	24 672	0.31	3 647 690	13 650	0.38	93 549	114	0.12
9	7 846 823	336	0.00	3 662 487	14 797	0.41	93 332	217	0.23
10	7 863 301	16 478	0.21	3 685 048	22 561	0.62	92 959	373	0.40
11	7 892 267	28 966	0.37	3 709 849	24 801	0.67	92 818	141	0.15
12	7 921 476	29 209	0.37	3 736 208	26 359	0.71	92 667	151	0.16
13	7 967 602	46 126	0.58	3 762 984	26 776	0.72	92 443	224	0.24
14	8 023 202	55 600	0.70	3 792 262	29 278	0.78	91 886	557	0.60
15	8 081 959	58 757	0.73	3 822 699	30 437	0.80	91 553	333	0.36
16	8 129 801	47 842	0.59	3 854 036	31 337	0.82	90 761	792	0.87
17	8 183 907	54 106	0.67	3 887 161	33 125	0.86	89 961	800	0.88
18年	8 247 810	63 903	0.78	3 910 232	23 071	0.59	88 982	979	1.09

2 平均年齢

平均年齢は、42.74歳と前年に比べ0.26歳高くなっている。男女を比較すると、男性41.39歳、女性44.07歳と女性の方が2.68歳高くなっている。

地域別にみると町村部の46.07歳が最も高く、次いで区部(43.07歳)、市部(41.96歳)の順となっており、いずれの地域でも上昇している。

また、20年前の昭和61年からの推移をみると、すべての地域で男女共、上昇を続け、20年間で男性は6.97歳、女性は7.27歳上昇した。

区市町村別にみると、三宅村の54.44歳が最も高く、次いで檜原村(54.17歳)、奥多摩町(53.22歳)、新島村(50.06歳)の順となっている。最も低いのは小笠原村の39.22歳で、次いで稲城市(39.96歳)、青ヶ島村(40.29歳)の順となっている。(表3、表4)

表3 区市町村別平均年齢及び年齢(3区分)別人口の構成比 平成18年1月1日現在

地 域	平均年齢(歳)			年齢(3区分)別人口の構成比(%)		
	総数	男	女	0～14歳	15～64歳	65歳以上
総数	42.74	41.39	44.07	11.86	69.78	18.37
区 部	43.07	41.68	44.44	11.17	70.17	18.66
千代田区	43.71	41.89	45.40	10.99	69.26	19.75
中央区	42.47	41.03	43.78	10.43	73.05	16.53
港区	43.42	41.88	44.77	10.02	72.03	17.95
新宿区	43.98	42.16	45.80	8.62	71.94	19.45
文京区	43.55	41.69	45.27	10.27	70.39	19.34
台東区	46.38	45.12	47.68	9.46	67.27	23.27
墨田区	44.46	43.04	45.89	10.83	68.62	20.55
江東区	43.20	42.04	44.36	11.40	70.78	17.82
品川区	43.69	42.19	45.14	9.68	71.55	18.77
目黒区	42.92	41.44	44.24	9.94	72.12	17.94
大田区	43.24	41.90	44.59	11.45	69.93	18.62
世田谷区	42.15	40.75	43.45	10.82	71.94	17.24
渋谷区	43.41	41.85	44.83	8.47	73.44	18.09
中央区	43.32	41.54	45.10	8.80	72.31	18.88
杉並区	42.91	41.39	44.34	9.50	72.24	18.26
豊島区	44.16	42.33	46.00	8.34	71.85	19.81
北区	45.59	43.76	47.39	9.62	67.74	22.64
荒川区	45.03	43.69	46.37	10.97	67.10	21.93
板橋区	42.95	41.65	44.25	11.40	70.13	18.48
練馬区	41.89	40.66	43.12	13.02	69.11	17.87
足立区	43.17	41.98	44.40	13.09	67.35	19.56
葛飾区	43.46	42.13	44.81	12.66	67.41	19.93
江戸川区	40.54	39.64	41.47	14.92	69.42	15.66
市 部	41.96	40.70	43.22	13.29	69.08	17.64
八王子市	41.78	40.51	43.09	13.41	69.34	17.25
立川市	41.82	40.59	43.05	13.21	69.45	17.34
武蔵野市	42.69	41.02	44.25	10.63	70.97	18.40
三鷹市	41.85	40.58	43.10	12.04	70.62	17.34
青梅市	42.39	41.00	43.81	14.29	67.96	17.75
府中市	40.92	39.67	42.23	13.91	69.80	16.29
昭島市	42.21	41.00	43.45	13.58	68.83	17.59
調布市	41.51	40.22	42.80	12.35	70.63	17.02
町田市	42.20	41.08	43.31	13.70	68.35	17.95
小金井市	41.73	40.24	43.21	12.33	70.33	17.34
小平市	41.63	40.42	42.83	13.87	68.17	17.96
日野市	42.00	40.67	43.37	13.19	68.95	17.86
東村山市	42.95	41.69	44.18	13.57	66.57	19.86
国分寺市	41.55	40.30	42.81	12.51	70.20	17.29
国立市	41.68	40.26	43.08	13.27	69.75	16.97
福生市	41.84	40.58	43.13	13.63	69.43	16.94
狛江市	42.73	41.40	44.03	11.39	69.70	18.92
東大和市	42.05	41.13	42.97	14.33	67.66	18.01
清瀬市	43.32	42.01	44.58	13.43	65.70	20.87
東久留米市	42.88	41.71	44.03	13.52	67.16	19.32
武蔵村山市	41.40	40.45	42.37	15.25	67.78	16.97
多摩市	42.05	40.92	43.17	12.11	71.75	16.15
稲城市	39.96	39.02	40.94	15.73	70.17	14.10
羽村市	40.99	39.84	42.19	15.13	68.78	16.09
あきる野市	42.95	41.72	44.20	14.48	66.21	19.31
西東京市	42.36	41.01	43.68	13.00	68.41	18.58
町 部	46.07	44.39	47.78	12.55	63.88	23.57
郡 部	44.91	43.27	46.58	12.71	65.76	21.53
瑞穂町	41.50	40.48	42.57	15.15	68.43	16.42
日の出町	46.80	44.67	48.91	10.54	66.86	22.59
檜原村	54.17	51.10	57.25	7.89	52.38	39.73
奥多摩町	53.22	50.69	55.70	7.75	56.00	36.24
島 部	48.43	46.68	50.24	12.23	60.06	27.71
大島支庁	48.44	46.71	50.13	12.36	59.50	28.13
大島町	48.63	46.70	50.51	11.96	59.93	28.11
利島村	47.10	46.57	47.66	10.56	66.67	22.77
新島村	50.06	48.34	51.67	11.91	56.82	31.27
神津島村	45.42	44.46	46.42	14.94	60.69	24.37
三宅支庁	53.21	50.56	56.13	6.67	57.51	35.82
三宅村	54.44	51.61	57.57	5.72	56.38	37.90
御蔵島村	40.53	39.62	41.49	16.49	69.18	14.34
八丈支庁	49.17	47.07	51.31	12.83	58.43	28.74
八丈町	49.36	47.24	51.52	12.67	58.28	29.05
青ヶ島村	40.29	40.95	39.25	20.20	65.15	14.65
小笠原支庁	39.22	40.30	37.86	16.53	73.17	10.30
小笠原村	39.22	40.30	37.86	16.53	73.17	10.30

(注1) 平均年齢の求め方は、各年齢(当年と翌年の中央値)ごとに人口を乗じた値を合計し、人口総数(年齢不詳を除く)で除す。
 平均年齢(歳) = (年齢×人口) ÷ 人口総数 + 0.5

(注2) 年齢(3区分)別人口の構成比(%) = 各年齢区別人口 ÷ 人口総数(年齢不詳を除く) × 100

表4 地域別、男女別平均年齢の推移(昭和61年、平成3、8、13～18年)

地域・男女		各年1月1日現在 (単位 歳)								
		昭和61年	平成3年	8年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
総数	総数	35.60	37.66	39.79	41.41	41.69	41.95	42.22	42.48	42.74
	区部	36.25	38.34	40.46	41.93	42.17	42.39	42.63	42.86	43.07
	市部	33.98	36.11	38.32	40.26	40.61	40.95	41.28	41.61	41.96
	町村部	35.44	37.45	41.14	43.76	44.22	44.63	45.13	45.58	46.07
	郡部	34.24	36.34	39.68	42.56	42.99	43.44	43.95	44.42	44.91
	島部	39.84	41.95	43.90	46.08	46.63	46.99	47.50	47.91	48.43
男	総数	34.42	36.40	38.48	40.07	40.34	40.60	40.87	41.13	41.39
	区部	34.97	36.99	39.09	40.54	40.77	41.00	41.24	41.47	41.68
	市部	33.06	35.04	37.18	39.04	39.38	39.70	40.03	40.36	40.70
	町村部	34.35	36.31	39.77	42.13	42.57	42.97	43.49	43.93	44.39
	郡部	33.28	35.32	38.42	40.97	41.36	41.80	42.35	42.81	43.27
	島部	38.38	40.34	42.36	44.37	44.95	45.31	45.80	46.20	46.68
女	総数	36.80	38.94	41.09	42.75	43.02	43.29	43.56	43.82	44.07
	区部	37.53	39.68	41.81	43.30	43.53	43.76	44.00	44.23	44.44
	市部	34.93	37.22	39.48	41.50	41.86	42.20	42.55	42.86	43.22
	町村部	36.57	38.64	42.54	45.43	45.90	46.32	46.79	47.26	47.78
	郡部	35.25	37.41	40.98	44.19	44.67	45.12	45.57	46.07	46.58
	島部	41.31	43.59	45.47	47.83	48.34	48.70	49.22	49.65	50.24

3 年齢別人口

(1) 年齢別人口構成

平成18年1月1日現在の東京都の人口を、年齢構造(人口ピラミッド)で見ると、第1次ベビーブーム世代の56～58歳と、第2次ベビーブーム世代を含む31～38歳を中心とした二つの膨らみを持つ「ひょうたん型」に近い形となっている。

20年前の昭和61年と比べると、25歳以下の人口は男女とも大きく減少し、逆に56歳以上の人口が大幅に増加しており、少子高齢化の人口構造の実態を浮き彫りにしている。

(14頁 図6-1、15頁 図6-2)

(2) 5歳階級別人口

人口総数を5歳階級別にみると、第2次ベビーブーム世代を含む30～34歳が1,137,655人(構成比9.29%)で最も多く、次いで35～39歳の1,031,110人(同8.42%)、25～29歳の997,932人(同8.15%)、55～59歳の943,584人(同7.70%)の順となっている。

5歳階級別人口を地域別にみると、区部は30～34歳の794,110人、35～39歳の710,131人、25～29歳の701,764人、55～59歳の633,453人の順となっている。

市部は30～34歳の337,649人、35～39歳の315,679人、55～59歳の301,628人、25～29歳の291,387人の順となっている。

町村部は55～59歳の8,503人が最も多く、次いで60～64歳の6,742人、50～54歳の6,611人の順となっている。

(表5)

表5 地域別、年齢(5歳階級)別人口 平成18年1月1日現在 (単位 人、%)

年 齢 (歳)	人 口				構 成 比			
	総 数	区 部	市 部	町村部	総 数	区 部	市 部	町村部
総 数	12 247 024	8 247 810	3 910 232	88 982	100.00	100.00	100.00	100.00
0～4	488 192	315 512	169 321	3 359	3.99	3.83	4.33	3.77
5～9	490 773	309 588	177 371	3 814	4.01	3.75	4.54	4.29
10～14	472 951	296 144	172 813	3 994	3.86	3.59	4.42	4.49
15～19	513 061	320 729	187 999	4 333	4.19	3.89	4.81	4.87
20～24	782 810	515 274	263 152	4 384	6.39	6.25	6.73	4.93
25～29	997 932	701 764	291 387	4 781	8.15	8.51	7.45	5.37
30～34	1 137 655	794 110	337 649	5 896	9.29	9.63	8.64	6.63
35～39	1 031 110	710 131	315 679	5 300	8.42	8.61	8.07	5.96
40～44	885 794	603 556	277 141	5 097	7.23	7.32	7.09	5.73
45～49	724 113	489 324	229 591	5 198	5.91	5.93	5.87	5.84
50～54	747 285	498 150	242 524	6 611	6.10	6.04	6.20	7.43
55～59	943 584	633 453	301 628	8 503	7.70	7.68	7.71	9.56
60～64	782 475	521 358	254 375	6 742	6.39	6.32	6.51	7.58
65～69	687 358	460 504	221 245	5 609	5.61	5.58	5.66	6.30
70～74	604 798	412 232	187 429	5 137	4.94	5.00	4.79	5.77
75～79	438 371	302 511	131 687	4 173	3.58	3.67	3.37	4.69
80～84	282 110	198 316	80 742	3 052	2.30	2.40	2.06	3.43
85～89	149 351	104 631	42 925	1 795	1.22	1.27	1.10	2.02
90歳以上	87 291	60 520	25 567	1 204	0.71	0.73	0.65	1.35
年齢不詳者	10	3	7	-	0.00	0.00	0.00	-

(注)構成比(%) = 各年齢別人口 ÷ 人口総数 × 100

(3) 10歳階級別人口

構成比

人口総数を10歳階級別に10年ごと(昭和61、平成8、18年)の構成比で見ると、平成18年は30歳代が17.71%で最も高く、次いで20歳代で14.54%、50歳代で13.81%の順となっている。

これを20年前の昭和61年の構成比と比べると、20歳代以下は20年前より低下しており、特に10歳代の低下が著しい。30歳代及び50歳代以上の階級では、構成比が上昇しており、少子高齢化の進展を示している。

次に、10年前の平成8年の構成比と比べると、20年前とほぼ同様の傾向を示すが、20歳代以下の低下と、60歳代以上が上昇するなど、一層、少子高齢化が進んでいる。

(表6、図2)

性比(女 100 に対する男の数)

性比を 10 歳階級別にみると、40 歳代が 109.0 で最も高く、次いで 30 歳代の 108.3、20 歳代の 108.1 の順となっている。

性比は 60 歳代で 100 を割り 91.5 となり、年代が進むにつれて低くなり、90 歳以上で 33.9 となっている。(表 6)

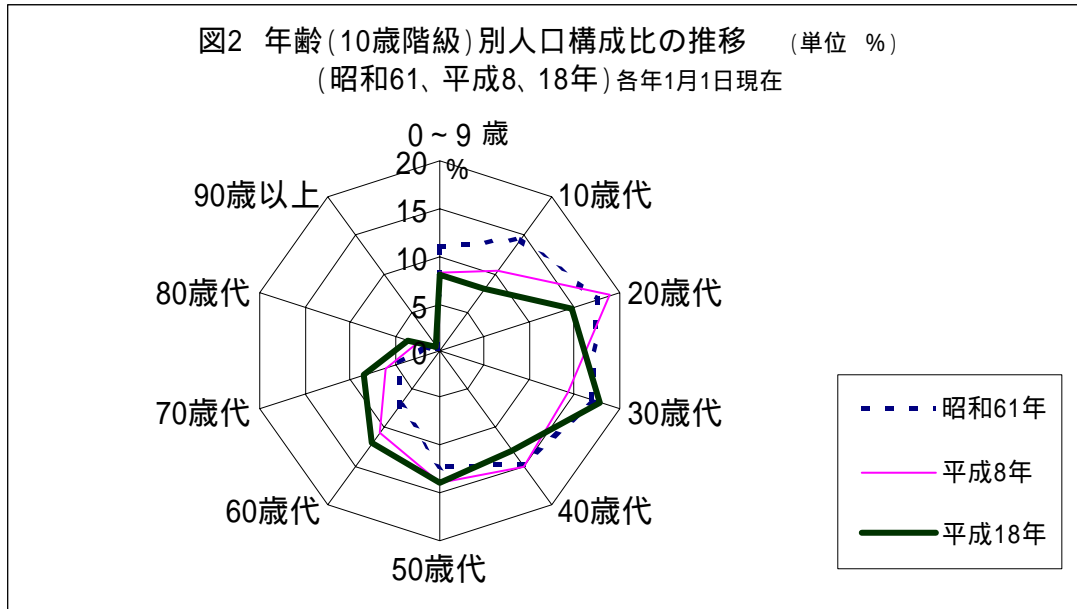


表 6 男女別人口の年齢(10歳階級)別構成比及び性比の推移(昭和61、平成8、18年)

各年1月1日現在 (単位 %)

年 齢	昭和61年			平成8年			18年			性比(女100人につき男)		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	昭和61年	平成8年	18年
総 数	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	101.1	99.9	98.8
0~9歳	10.87	11.07	10.68	8.20	8.40	8.00	7.99	8.25	7.74	104.8	104.9	105.2
10歳代	14.61	14.99	14.22	10.49	10.75	10.22	8.05	8.27	7.83	106.6	105.1	104.3
20歳代	17.46	18.91	15.99	18.68	19.78	17.59	14.54	15.19	13.89	119.5	112.4	108.1
30歳代	16.83	17.58	16.06	14.11	14.97	13.24	17.71	18.53	16.90	110.7	113.0	108.3
40歳代	14.85	14.57	15.13	15.16	15.55	14.76	13.15	13.79	12.51	97.4	105.2	109.0
50歳代	12.17	11.73	12.60	13.97	13.73	14.21	13.81	14.11	13.50	94.1	96.5	103.3
60歳代	7.23	6.24	8.23	10.78	10.18	11.38	12.00	11.54	12.46	76.7	89.3	91.5
70歳代	4.39	3.72	5.07	5.81	4.69	6.92	8.52	7.53	9.49	74.2	67.8	78.5
80歳代	1.47	1.10	1.85	2.47	1.77	3.17	3.52	2.42	4.61	60.5	55.7	52.0
90歳以上	0.13	0.08	0.17	0.34	0.19	0.49	0.71	0.36	1.06	44.7	38.1	33.9

(注) 総数には年齢不詳者を含む。

4 年齢(3区分)別人口

(1) 年齢(3区分)別人口の推移

人口総数を年齢3区分別に見ると、平成18年の年少人口(0～14歳)は、1,451,916人で、前年に比べ6,096人(0.42%)増加した。人口総数に占める割合は11.86%で、10年前の平成8年(12.87%)に比べ1.01ポイント低下している。

平成18年の生産年齢人口(15～64歳)は、8,545,819人で、前年に比べ6,780人(0.08%)増加し5年連続の増加となった。しかし、人口総数に占める割合は69.78%で、平成5年から低下が続いており、10年前の平成8年(73.78%)に比べ人口では850万人台で変化はないが、4.00ポイントの低下となった。

平成18年の老年人口(65歳以上)は2,249,279人で、前年に比べ73,117人(3.36%)増加した。また、人口総数に占める割合は18.37%で、10年前の平成8年の13.34%(1,545,928人)に比べ、5.03ポイント(703,351人)上昇し、老年人口が増加の一途を辿っている。なお、平成18年の老年人口のうちの70歳以上は、1,561,921人で前年に比べ70,367人(4.72%)の増加で、人口総数に占める割合は12.75%となり、また、75歳以上は957,123人で前年に比べ42,731人(4.67%)の増加で人口総数に占める割合は7.82%となっている。

(表7-1、表7-2、参考表第7表、図3)

表7-1 年齢(3区分)別人口の推移(平成8～18年) 各年1月1日現在 (単位 人、%)

年次	年少人口(0～14歳)			生産年齢人口(15～64歳)			老年人口(65歳以上)		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成8	1 491 832	29 663	1.95	8 549 947	40 612	0.47	1 545 928	59 368	3.99
9	1 468 773	23 059	1.55	8 521 425	28 522	0.33	1 612 425	66 497	4.30
10	1 452 699	16 074	1.09	8 503 421	18 004	0.21	1 685 171	72 746	4.51
11	1 440 642	12 057	0.83	8 496 695	6 726	0.08	1 757 581	72 410	4.30
12	1 430 154	10 488	0.73	8 497 436	741	0.01	1 822 748	65 167	3.71
13	1 427 229	2 925	0.20	8 491 001	6 435	0.08	1 904 789	82 041	4.50
14	1 427 848	619	0.04	8 500 167	9 166	0.11	1 979 325	74 536	3.91
15	1 432 509	4 661	0.33	8 507 104	6 937	0.08	2 056 589	77 264	3.90
16	1 435 292	2 783	0.19	8 523 570	16 466	0.19	2 115 728	59 139	2.88
17	1 445 820	10 528	0.73	8 539 039	15 469	0.18	2 176 162	60 434	2.86
18年	1 451 916	6 096	0.42	8 545 819	6 780	0.08	2 249 279	73 117	3.36

(続)

年次	(再掲)老年人口のうち70歳以上			(再掲)老年人口のうち75歳以上		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成8	998 471	45 476	4.77	597 993	23 882	4.16
9	1 046 281	47 810	4.79	624 960	26 967	4.51
10	1 094 464	48 183	4.61	651 159	26 199	4.19
11	1 145 862	51 398	4.70	679 437	28 278	4.34
12	1 193 987	48 125	4.20	709 247	29 810	4.39
13	1 247 391	53 404	4.47	748 924	39 677	5.59
14	1 304 631	57 240	4.59	788 134	39 210	5.24
15	1 369 146	64 515	4.95	829 013	40 879	5.19
16	1 432 319	63 173	4.61	871 842	42 829	5.17
17	1 491 554	59 235	4.14	914 392	42 550	4.88
18年	1 561 921	70 367	4.72	957 123	42 731	4.67

(注1)増減数(人) = 当該年の区分別人口 - 前年の区分別人口

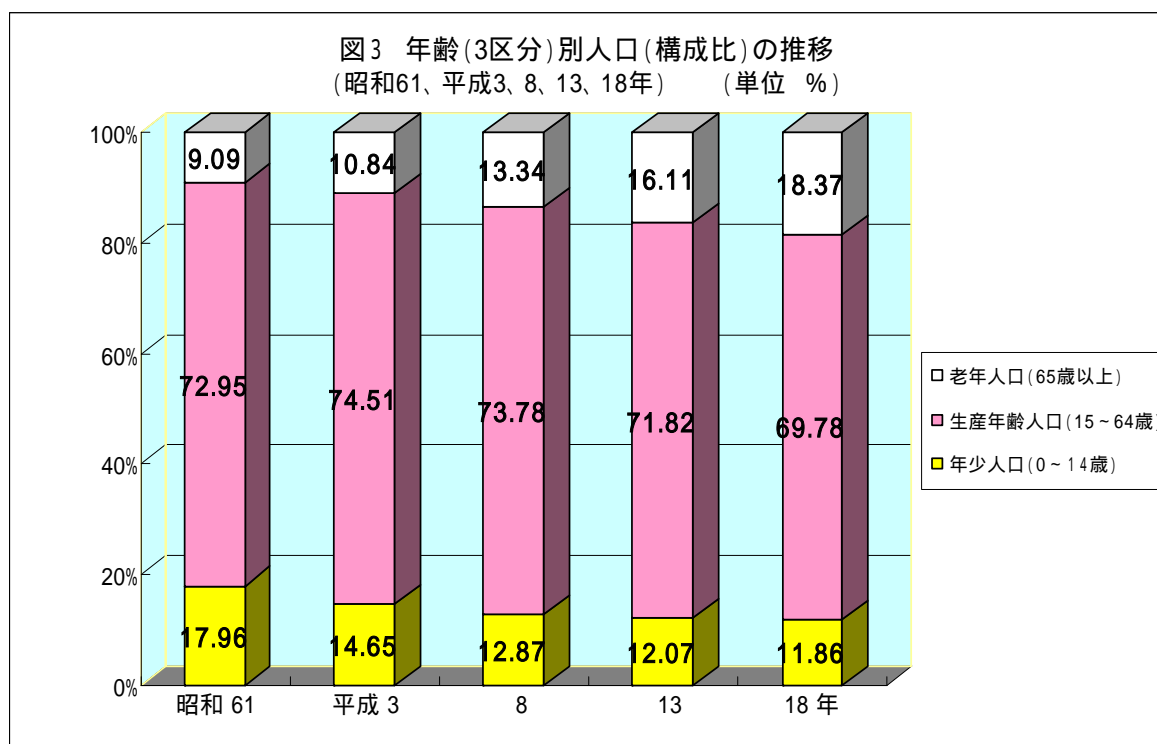
(注2)増減率(%) = (当該年の区分別人口 - 前年の区分別人口) ÷ 前年の区分別人口 × 100

表7-2 年齢(3区分)別人口及び構成比の推移(昭和61~平成18年) 各年1月1日現在 (単位 人、%)

年次	年少人口 (0~14歳)		生産年齢人口 (15~64歳)		老年人口 (65歳以上)		(再掲)老年人口のうち70歳以上		(再掲)老年人口のうち75歳以上	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
昭和61	2 097 660	17.96	8 522 129	72.95	1 062 505	9.09	700 117	5.99	396 337	3.39
62	2 027 876	17.27	8 611 850	73.35	1 101 144	9.38	726 391	6.19	418 565	3.57
63	1 945 822	16.57	8 658 037	73.75	1 136 479	9.68	750 748	6.39	438 481	3.73
64	1 858 201	15.86	8 687 938	74.14	1 172 552	10.01	769 862	6.57	458 921	3.92
平成2	1 777 415	15.19	8 705 260	74.42	1 215 356	10.39	793 914	6.79	481 396	4.12
3	1 712 004	14.65	8 706 731	74.51	1 266 165	10.84	822 312	7.04	501 455	4.29
4	1 656 726	14.18	8 708 151	74.53	1 318 412	11.28	852 706	7.30	519 950	4.45
5	1 605 905	13.77	8 688 396	74.47	1 371 902	11.76	882 964	7.57	538 984	4.62
6	1 557 250	13.39	8 641 549	74.32	1 428 756	12.29	915 063	7.87	554 187	4.77
7	1 521 495	13.12	8 590 559	74.07	1 486 560	12.82	952 995	8.22	574 111	4.95
8	1 491 832	12.87	8 549 947	73.78	1 545 928	13.34	998 471	8.62	597 993	5.16
9	1 468 773	12.66	8 521 425	73.44	1 612 425	13.90	1 046 281	9.02	624 960	5.39
10	1 452 699	12.48	8 503 421	73.05	1 685 171	14.48	1 094 464	9.40	651 159	5.59
11	1 440 642	12.32	8 496 695	72.65	1 757 581	15.03	1 145 862	9.80	679 437	5.81
12	1 430 154	12.17	8 497 436	72.32	1 822 748	15.51	1 193 987	10.16	709 247	6.04
13	1 427 229	12.07	8 491 001	71.82	1 904 789	16.11	1 247 391	10.55	748 924	6.33
14	1 427 848	11.99	8 500 167	71.39	1 979 325	16.62	1 304 631	10.96	788 134	6.62
15	1 432 509	11.94	8 507 104	70.91	2 056 589	17.14	1 369 146	11.41	829 013	6.91
16	1 435 292	11.89	8 523 570	70.59	2 115 728	17.52	1 432 319	11.86	871 842	7.22
17	1 445 820	11.89	8 539 039	70.22	2 176 162	17.89	1 491 554	12.27	914 392	7.52
18年	1 451 916	11.86	8 545 819	69.78	2 249 279	18.37	1 561 921	12.75	957 123	7.82

(注) 構成比(%) = 各区分別人口 ÷ 人口総数 × 100

20年前の昭和61年の構成比と比べると、年少人口は6.10ポイント、生産年齢人口は3.17ポイントそれぞれ低下しているが、老年人口は9.28ポイントと上昇した。(表7-1、7-2、図3)



(2) 地域別比較

平成 18 年 1 月 1 日現在の年齢(3 区分)別人口の構成比を地域別にみると、年少人口の割合は、市部(13.29%)が最も高く、次いで町村部(12.55%)、区部(11.17%)の順となっている。

生産年齢人口の割合は、区部(70.17%)が最も高く、次いで市部(69.08%)、町村部(63.88%)の順となっている。

老年人口の割合は、町村部(23.57%)が最も高く、次いで区部(18.66%)、市部(17.64%)の順となっている。特に、島部の町村(27.71%)で高くなっている。(表 8)

表 8 地域別、年齢(3 区分)別人口 平成18年1月1日現在 (単位 人、%)

地 域	総 数		年 少 人 口 (0～14歳)		生 産 年 齢 人 口 (15～64歳)		老 年 人 口 (65歳以上)	
	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比	人 口	構 成 比
総 数	12 247 024	100.00	1 451 916	11.86	8 545 819	69.78	2 249 279	18.37
区 部	8 247 810	100.00	921 244	11.17	5 787 849	70.17	1 538 714	18.66
市 部	3 910 232	100.00	519 505	13.29	2 701 125	69.08	689 595	17.64
町 村 部	88 982	100.00	11 167	12.55	56 845	63.88	20 970	23.57
郡 部	59 705	100.00	7 587	12.71	39 262	65.76	12 856	21.53
島 部	29 277	100.00	3 580	12.23	17 583	60.06	8 114	27.71

(注)総数には年齢不詳者を含む。

(3) 区市町村別比較

平成 18 年 1 月 1 日現在の年齢(3 区分)別人口の構成比を区市町村別にみると、年少人口の割合は、青ヶ島村(20.20%)が最も高く、都全体(11.86%)に比べ 8.34 ポイント高くなっている。次いで小笠原村(16.53%)、御蔵島村(16.49%)の順となっている。最も低いのは三宅村(5.72%)で、次いで奥多摩町(7.75%)、檜原村(7.89%)の順となっている。

生産年齢人口の割合は、渋谷区(73.44%)が最も高く、都全体(69.78%)に比べ 3.66 ポイント高くなっている。次いで小笠原村(73.17%)、中央区(73.05%)の順となっている。最も低いのは檜原村(52.38%)で、次いで奥多摩町(56.00%)、三宅村(56.38%)の順となっている。

老年人口の割合は、檜原村(39.73%)が最も高く、都全体(18.37%)に比べ 21.36 ポイント高くなっている。次いで三宅村(37.90%)、奥多摩町(36.24%)の順となっている。

最も低いのは小笠原村(10.30%)で、次いで稲城市(14.10%)、御蔵島村(14.34%)の順となっている。(4 頁 表 3)

(4) 全国との比較

全国と比較してみると、年齢(3 区分)別構成比では、東京都の年少人口は 11.86 %で全国より 2.05 ポイント低く、生産年齢人口は 69.78 %で全国より 3.41 ポイント高く、老年人口は 18.37 %で全国より 1.35 ポイント低くなっている。

なお、平成 18 年 1 月 1 日現在の東京都と、全国の直近(平成 17 年 3 月 31 日)の人口を比較すると、東京都は約 1,225 万人、全国は約 1 億 2,687 万人となっている。東京都が全国に占める割合は 9.65 % となっている。(表 9、図 4-1、図 4-2)

表 9 年齢(3区分)別人口

(単位 人、%)

区 分	都 *1		全国(参考) *2	
	人 口	構成比	人 口	構成比
総 数	12 247 024	100.00	126 869 397	100.00
年少人口(0～14 歳)	1 451 916	11.86	17 651 202	13.91
生産年齢人口(15～64 歳)	8 545 819	69.78	84 197 141	66.37
老年人口(65 歳以上)	2 249 279	18.37	25 021 054	19.72

*1:本調査(平成 18 年 1 月 1 日現在)。総数には年齢不詳を含む。

*2:総務省自治行政局「住民基本台帳人口要覧」(平成 17 年 3 月 31 日現在)

全国人口総数の年齢別数値は国勢調査の結果数値(毎 5 年周期の 10 月 1 日)または各年 3 月 31 日の数値しか公表されていないため、直近の数値として、総務省自治行政局「住民基本台帳人口要覧」(平成 17 年 3 月 31 日現在)の数値を使用した。総数には年齢不詳を含む。

図 4 - 1 都の構成比

(平成 18 年 1 月 1 日現在)

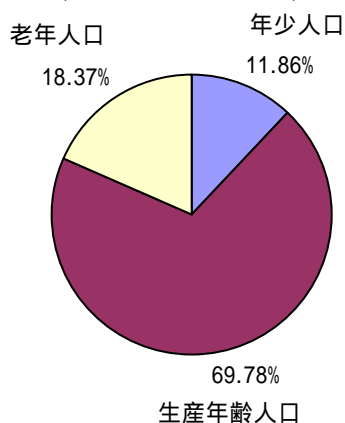
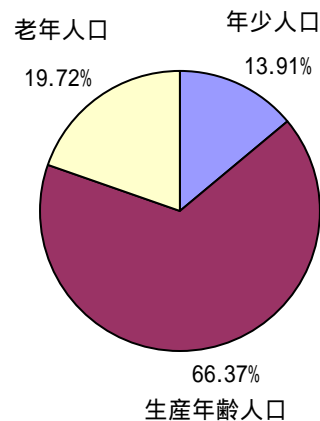


図 4 - 2 全国の構成比

(平成 17 年 3 月 31 日現在)



5 年齢構造指数

平成 18 年の年少人口指数(年少人口の生産年齢人口に対する比率)は 17.0 で、前年に比べ 0.1 ポイント上昇した。一方、老年人口指数(老年人口の生産年齢人口に対する比率)は、平成 18 年は 26.3 となり、前年に比べ 0.8 ポイント上昇した。昭和 32 年からの年齢構造指数の推移を見ると、平成 7 年まで老年人口指数が年少人口指数を下回っていたが、平成 8 年に逆転し、以後、老年人口指数の上昇が続いている。

従属人口指数(年少人口+老年人口の生産年齢人口に対する比率)は、前年より 0.9 ポイント上昇し 43.3 となった。また、老年化指数(老年人口の年少人口に対する比率)は、平成 8 年に 100 を超え、平成 18 年は 154.9 となった。昭和 61 年(20 年前)の老年化指数 50.7 と比べると 3.06 倍になった。(表 10、図 5、参考表第 7 表)

(注) 年齢構造指数とは、次の指数の総称である。(人口学用語)

$$\text{年少人口指数} = (\text{年少人口}) \div (\text{生産年齢人口}) \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = (\text{老年人口}) \div (\text{生産年齢人口}) \times 100$$

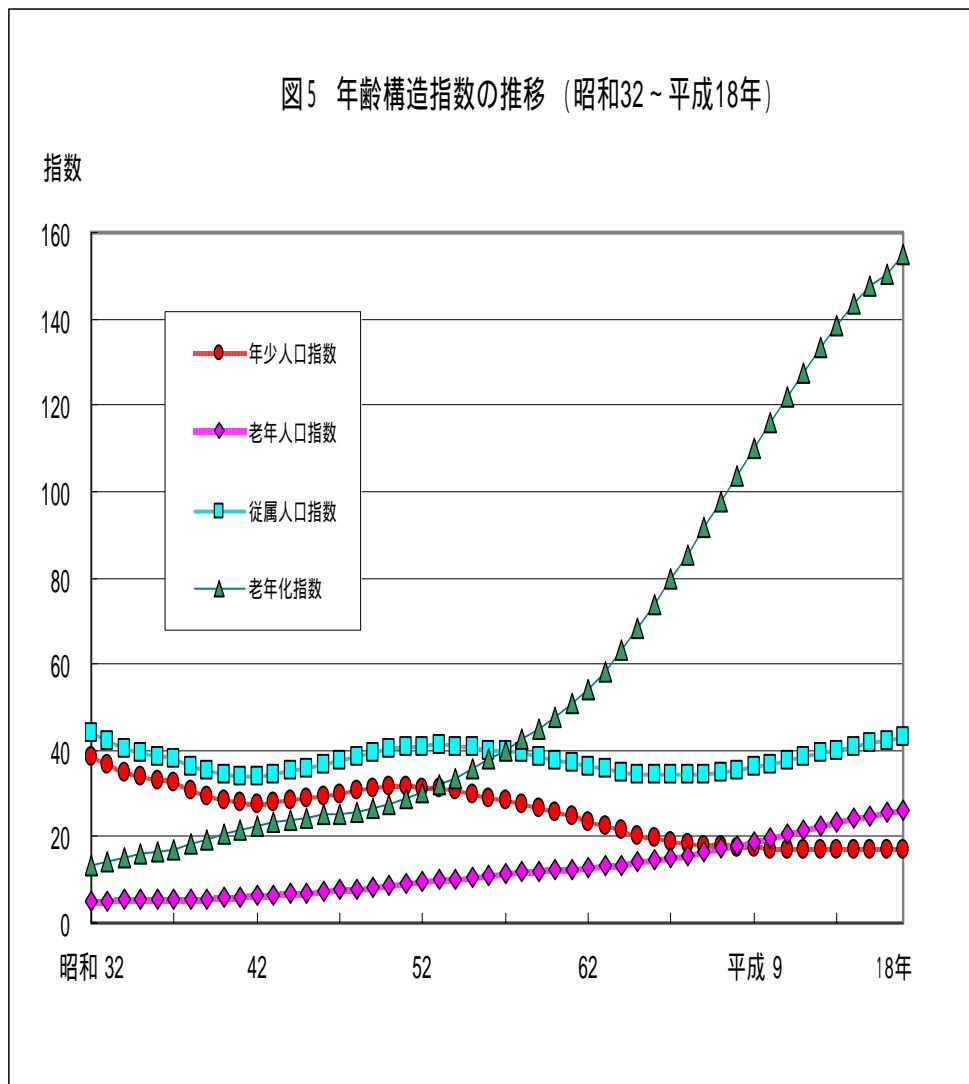
$$\text{従属人口指数} = \{(\text{年少人口}) + (\text{老年人口})\} \div (\text{生産年齢人口}) \times 100$$

従属人口指数は、年少人口 + 老年人口の生産年齢人口に対する比率

$$\text{老年化指数} = (\text{老年人口}) \div (\text{年少人口}) \times 100$$

表 10 年齢構造指数の推移(昭和 61、平成 3、8、13～18年) 各年 1月 1日現在

年齢構造指数	昭和 61	平成 3	8	13	14	15	16	17	18年
年少人口指数	24.6	19.7	17.4	16.8	16.8	16.8	16.8	16.9	17.0
老年人口指数	12.5	14.5	18.1	22.4	23.3	24.2	24.8	25.5	26.3
従属人口指数	37.1	34.2	35.5	39.2	40.1	41.0	41.7	42.4	43.3
老年化指数	50.7	74.0	103.6	133.5	138.6	143.6	147.4	150.5	154.9



6 世帯数

平成 18 年 1 月 1 日現在における東京都の住民基本台帳による世帯総数は 5,932,890 世帯で、前年に比べ 90,061 世帯（1.54%）増加した。

調査開始時である昭和 32 年の 2,021,303 世帯から一貫して増加し、平成 18 年までの 30 年間で 390 万世帯増加した。一方、1 世帯当たりの人員は、調査開始以来一貫して低下を続け 2.06 人となり、昭和 32 年の 4.09 人に比べ半減している。

地域別に前年と比べてみると、区部は 4,169,614 世帯で 66,146 世帯（1.61%）の増、市部は 1,724,741 世帯で 23,687 世帯（1.39%）の増、町村部は 38,535 世帯で 228 世帯（0.60%）の増とすべての地域で増加している。1 世帯当たりの人員は、町村部の 2.31 人が最も多く、次いで、市部の 2.27 人、区部の 1.98 人の順となっている。

区市町村別にみると、世田谷区が 418,118 世帯で最も多く、次いで、大田区（326,647 世帯）、練馬区（314,248 世帯）の順となっている。最も少ないのは青ヶ島村（117 世帯）で、次いで、御蔵島村（145 世帯）、利島村（168 世帯）の順となっている。

1 世帯当たりの人員は、あきる野市が 2.62 人で最も多く、次いで瑞穂町の 2.61 人、日の出町の 2.58 人の順となっている。最も少ないのは三宅村の 1.68 人で、次いで青ヶ島村の 1.69 人、渋谷区の 1.71 人の順となっている。

（表 11、表 12、統計表第 1 表、第 4 表、参考表第 8 表）

表 11 地域別世帯数の推移（平成 8～18 年） 各年 1 月 1 日現在 （単位 世帯、%）

年次	総数			区部			市部			町村部		
	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率	世帯数	増減数	増減率
平成 8	5 103 541	49 068	0.97	3 601 358	28 156	0.79	1 467 096	20 334	1.41	35 087	578	1.67
9	5 166 041	62 500	1.22	3 642 018	40 660	1.13	1 488 332	21 236	1.45	35 691	604	1.72
10	5 239 545	73 504	1.42	3 690 179	48 161	1.32	1 513 242	24 910	1.67	36 124	433	1.21
11	5 324 604	85 059	1.62	3 745 344	55 165	1.49	1 542 626	29 384	1.94	36 634	510	1.41
12	5 401 662	77 058	1.45	3 797 774	52 430	1.40	1 566 810	24 184	1.57	37 078	444	1.21
13	5 489 639	87 977	1.63	3 859 532	61 758	1.63	1 592 610	25 800	1.65	37 497	419	1.13
14	5 585 847	96 208	1.75	3 927 099	67 567	1.75	1 620 901	28 291	1.78	37 847	350	0.93
15	5 679 978	94 131	1.69	3 993 731	66 632	1.70	1 648 139	27 238	1.68	38 108	261	0.69
16	5 760 580	80 602	1.42	4 047 216	53 485	1.34	1 675 128	26 989	1.64	38 236	128	0.34
17	5 842 829	82 249	1.43	4 103 468	56 252	1.39	1 701 054	25 926	1.55	38 307	71	0.19
18 年	5 932 890	90 061	1.54	4 169 614	66 146	1.61	1 724 741	23 687	1.39	38 535	228	0.60

（注 1）増減数（世帯）＝当該年の世帯数－前年の世帯数

（注 2）増減率（%）＝（当該年の世帯数－前年の世帯数）÷前年の世帯数×100

表 12 地域別 1 世帯当り人員の推移（昭和 61、平成 3、8、13～18 年）各年 1 月 1 日現在 （単位 人）

地域	昭和 61	平成 3	8	13	14	15	16	17	18 年
総数	2.50	2.39	2.27	2.15	2.13	2.11	2.10	2.08	2.06
区部	2.40	2.29	2.18	2.06	2.04	2.02	2.01	1.99	1.98
市部	2.79	2.63	2.49	2.36	2.34	2.32	2.30	2.29	2.27
町村部	3.06	2.87	2.67	2.47	2.43	2.40	2.37	2.35	2.31

図 6-1 東京都の人口の年齢構造(平成 18 年 1 月 1 日現在)

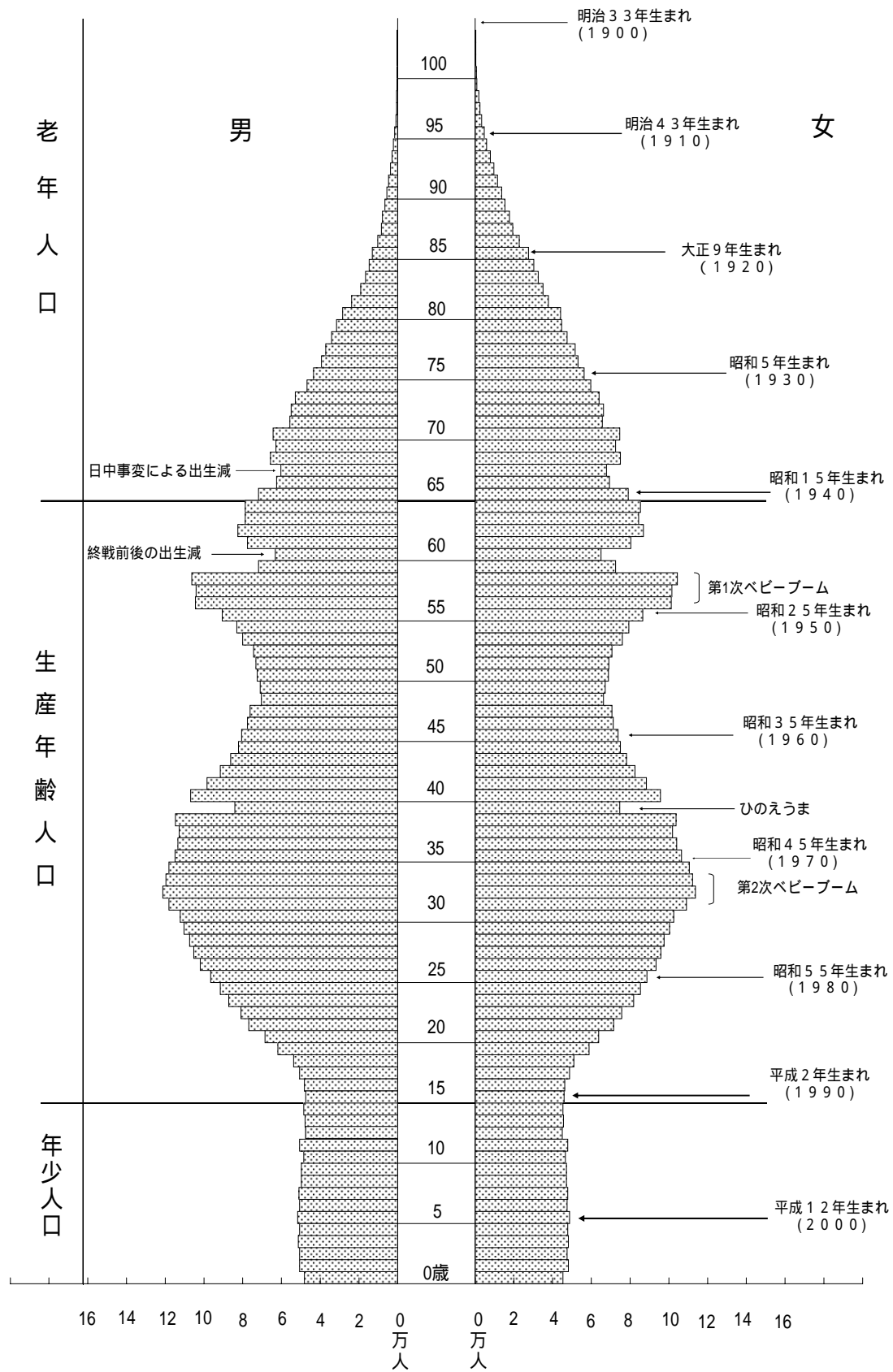


図 6-2 東京都の人口の年齢構造(昭和61年・平成18年)

